

オーストラリアの学校生活

使い方例

- オーストラリアと日本の学校生活の違い、共通点を見つける。
- 帽子、通学バッグ、弁当箱などを手に取りながら、オーストラリアの学校生活の様子を知る
- インターネットでオーストラリアの学校の様子を調べる
- オーストラリアの学校が舞台になっているドラマをみる
(NHK for School > 「ファーストデイ わたしはハナ」、「ハードボール マイキーは転校生」)

説明

- オーストラリアでは、1コマの授業時間は、州・学校によって異なります。(日本では全国の小・中学校での1コマの授業時間は45分です。)例えば、ニューサウスウェールズ州では、8時45分に始まり、午後3時に終わる学校が多いようです。1コマは40分から1時間と幅があります。モーニングティーとランチの2回、長めの休みがあります。
<https://www.deinternational.nsw.edu.au/school-life-in-nsw/school-life>

- オーストラリアでの外国語学習は7年生以上の選択科目です。
- 長期休暇の時期は州・学校によって異なります。夏休みは12月～1月、冬休みは7月、3月か4月に2週間ほどのイースター休暇、9月にも2週間の休みがあります。

問題 1

1. 小学校に制服はある (全てというわけではありませんが、公私問わず制服のある学校が多い)
2. お昼ごはんは給食がない (お弁当を持っています。学校によっては、タックショップと呼ばれる売店でサンドイッチ、果物などを買うことができます。)
3. おやつを食べてよい時間がある(午前中に Recess または Morning tea と呼ばれる長めの休憩があります。)
4. 教室の掃除の時間はない (児童ではなく業者による清掃があります)

州によって異なります。インドネシア語、イタリア語、日本語、中国語(北京語)はどの州でも人気の科目です。

問題 2 12月

オーストラリア政府文化機関 豪日交流基金
〒108-8361 東京都港区三田 2-1-14 オーストラリア大使館